

## 令和6年度第二回当別町新庁舎建設検討委員会報告書

- 1 日 時 令和7年1月29日（水） 10:00～11:30
- 2 場 所 役場第二庁舎
- 3 出席者  
(出席委員) 高橋委員長、川村委員、下段委員、松岡委員、袴田委員、  
小貫委員、今堀委員  
  
(町及び事務局)  
【事務局】 長谷川企画部参与、遊佐事業推進課長  
事業推進課 米内主幹、越智主任
- 4 傍聴者 3名
- 5 会議概要  
開会后、次第により、次のとおり委員会を取り進めた。
  - ・委員長挨拶
  - ・議 事  
事務局より「①耐震化調査結果について」を資料に基づき説明した。
  - ・質 疑  
委 員：改修に係る費用がおよそ38億円、うち仮設庁舎を建設する費用が約8億円  
(意見) ということで、当初から想定をしていた改修に係る費用2億円という額から  
およそ18から19倍となっているため、改修に関して検討するという段階  
にないと感じた。BCP（事業継続計画）の観点から万一災害が起きた際に  
対応できなくなる可能性を考慮すると、いち早く新しい庁舎を建設すると  
いうスケジュール感の元、議論するべきではないか。  
当初、この委員会が設立されたときの議論の中で、30億円台で新庁舎を  
作ることができればというようなお話もあったが、原材料費、建設費の高騰  
などの理由で上がっていく可能性が今後あるのであれば、今後は他自治体  
とかの例から材料費をどう抑えたのか、などの情報収集を行ったうえで検討  
をする必要があると感じた。
  - 委 員：耐震補強するにしても仮庁舎を設けなければ日常の業務が滞ってしまうため、  
(意見) そうならないよう仮庁舎を用意しなければならない、という話であった。  
また、今使っていない施設を代替施設として用いる場合、アラート用  
アンテナを代替施設へ移設できない問題から、仮設庁舎を現庁舎の近くに  
建設するしかないという結論であった。通勤や来庁者用の駐車場を潰して  
まで仮設庁舎を建てるというのは現実的ではない。

であれば、仮設庁舎建設を伴った改修検討をするよりも、新庁舎建設に踏み切った議論をするべきであると感じる。その中で、西当別支所のようにコンパクトに機能を凝縮した施設を建設し費用を抑えることや、ただ小さいだけの庁舎を建てればいいというわけではなく町民が利用できる文化的な施設に庁舎が入ってもいいのではないかと感じる。

委員：まず、耐震化の調査をしていただいた結果、耐震化工事を行ったとして、  
（意見）10年間維持ができる庁舎にするだけのために38億円、さらに仮設庁舎に8億円を使うのは現実的でないと考える。

新たな機能を持った施設を新たな世代のために建設するという前提で話をするべきあり、少なくともこの委員会の中では新庁舎の建設を行うという方向へ議論の舵を切るべきだと考える。

委員：委員長やはかの委員の方が言う通り、改修工事にこんなにお金がかかると  
（意見）いう事実が明らかになった時点で、改修工事の必要はないと断じて、次の段階へ進む議論をするべきだと感じる。

これから働いてもらう職員の職場環境を過酷だと感じるものから、快適に仕事ができると感じる環境づくりをしていくべきだと感じる。

大学移転の問題が噴出し、町の雰囲気も暗い方面に進んでしまっていた感があったが、新庁舎の建設によって町の状況が好転すればよいと感じる。

委員：耐震化の工事にこれだけの額がかかると分かった、というだけで新庁舎の  
（意見）建設に舵を切る、という判断をしたことを示すために説得力のある調査であると感じた。

日にちばかりがたち、検討段階に大きい災害が起きないとも限らないのでいち早く新庁舎の建設の検討に舵を切るべきだと考える。

新庁舎も過剰に広く大きく作るのではなく、業務の方法次第でコンパクトにできる新庁舎を建設することが可能なのではないかと思う。

自分自身高齢者の立場にあるので、役場に直接行かなくてもとれる書類や業務を、高齢者をおいていかないようなシステムにしてくれれば、役場は絶対に駅に近くなければならない、などの立地にこだわる必要はないように感じる。

委員：耐震化の工事にこれだけの額がかかると知った時点で率直に高すぎると  
（意見）感じた。太美に在住していると西当別支所で完結できてしまうことが多く、本町も新たに庁舎を建てるとした場合、西当別支所のようにコンパクトな庁舎を建ててもいいように感じる。

現庁舎の位置に新庁舎を建てると想定する場合、仮庁舎を建てる必要がでてくるのであれば、自分の考えとしては別の場所に新庁舎を建設し、新庁舎が完成して移転するタイミングまで現庁舎を利用するべきだと考える。

委員 長：委員の皆さんの意見を聞いたうえで、38億円近い金額を使い耐震補強工事をするのは現実的ではなく、新庁舎建築へ舵を切った方がいいという意見がほとんどであるので、委員の総意として結論づけてもいいでしょうか。

委員：異議なし（全員）

事務局：耐震改修工事に当初2～5億というような話があったのは建物自体をただ倒れないものにするだけですのであればどれほどかと試算した時に出た数字でした。しかし、耐震化改修というのは有事の際に災害対策本部をしっかりと編成することができ、災害にあった市民の皆様に支援、サポートができる体制を職員たちが組める、というのが目的であるため、建物が倒れていない、とはいっても建物の中身がまるで使えないということであれば全く意味のないものとなるため、その点を精査したうえで算出した結果、申し上げた数字になっています。

また、仮設庁舎の価格についても改修工事をする期間中、強風や地震などといった災害に耐えうる施設を建てなければならないため、仮設庁舎といってもある程度の費用が掛かることとなってしまいます。

委員 長：現庁舎の災害に対する状況というのは10年前の段階から今の状況であったと記憶しているが、新庁舎の建設を行うまでの間で災害が来た場合の心配をしなくて良いのだろうか。

事務局：震度6の地震が来たら庁舎の崩落の可能性があるという調査結果がかつて出た経緯もあります。新庁舎を建設するにしても、耐震改修工事を行うにしても年単位の工期が必要となるため、なるべく早く工事を行う必要があると考えます。

委員：新庁舎建設を行う場合に想定していた候補地が四か所あったと思うが、それぞれの状況について教えていただきたい。

事務局：役場用地、旧当別小学校跡地、白樺公園、JA北石狩の四か所の候補地それぞれについての検討結果と、それぞれの懸念点について説明いたします。  
現庁舎の用地については十分な面積を確保できるか、線路に近接しているため工事の際に支障が出ると懸念されJRとの協議が必要となります。  
旧当別小学校跡地については体育館が比較的最近建て直しを行っており、その建て直しの際に用いた補助金の関係上解体するわけにいかないという事情を抱えています。また、総合体育館との兼ね合いで代替利用している場合もあるという現状があります。さらに、前面の道路をつなぐ橋が非常に狭くその位置に役場庁舎が建設された際に交通安全上の不便さや安全性の担保のため道路や橋の改修を行わなければならないという問題を抱えています。

白樺公園用地については、都市公園の指定を受けておりその指定を除外するという高いハードルがあります。また、地域住民からの反対もあり現実的でないと考えています。

農協用地については、農協庁舎と複合化した施設を建てるということとなるが、協議する事項や農協の施設建設中に業務を滞らせないようにするために別途施設を用意する必要があるなど問題が多岐にわたるため現実的でないと考えます。

委員：付け加えると、農協の方でも新庁舎の建設について複合化案は悪い話ではないと当初は考えられていたものの、事務局から説明があった通り現農協庁舎の位置に新しく庁舎を建設する場合は通常業務をこなすために別の場所を用意しなければならず、今年の総代で方針は出す予定ではあるものの、正直具体案を検討することにはならない。

委員長：この四か所以外の候補として新たに考えうる場所はないのだろうか。

委員：旧公民館の跡地は町有地ではなかっただろうか。旧公民館を取り壊ししなければならぬのであれば一石二鳥だと思うが難しいのだろうか。

事務局：旧公民館跡地は確かに町有地であり敷地面積でいうとおよそ4,000㎡の土地となっており、今までの庁舎と比べて広さという観点では少し手狭という評価となっている土地となっています。とはいえ委員がおっしゃる通り、事務局としても気にしている土地であり、検討段階にある土地でもあります。近年その周辺にあった民地が更地となっており、万が一その周辺の土地を合わせて利用できることとなれば十分な面積を持つ土地となると試算でき、今までの候補地となっていなかったことから、この会議の場でご提案いただいたことにより議論の対象とすることができる可能性があると感じています。

ただ、懸念点として、例えば農協の土地は国道の広い道に面しているのに対して、旧公民館跡地が面している道路がさほど広い道ではないので不便さがある、という点があります。

様々な理由で客観的な理由から候補地として考えるに値する土地であると考えることができるため、今後も検討していこうと考えています。

委員：町内の商工業の発展として旧公民館跡地を利用することは悪いことではない（意見）と考える。

委員：今回、改修補強工事にはかかる試算の報告の場であったので、新庁舎建設に（意見）概算でもどれほどの額で行うことができるのか提示してもらえれば議論はかどると思うので、次回までに提示いただければと思う。

委員長：ありがとうございました。

本日は、耐震化調査の結果について事務局より説明いただきました。  
説明の結果、委員の皆様から改修補強工事から新庁舎の建設への建て替えへ、  
という意見で委員全員の総意として結論づけ、建設場所についても以前に  
提示された四つの候補地のみならず、新たな場所の可能性も踏まえて、  
建替え場所について、次回以降協議していくことになることとなりました。  
引き続き、委員の皆様にご協力をいただきたいと考えておりますので、  
よろしく願いいたします。

・その他

事務局より、次回の今年度三回目の委員会は2月28日に開催する旨、提案し委員の了承を得た。

資料も事前にお示しできるような形で調整する旨、連絡した。

以上